

挑戦する人 challenger

- 1962年 長崎に生まれる。
- 1978年 北諫早中学校卒業。
- 1981年 長崎県立長崎工業高校 建築科卒業。歌手の福山雅治の先輩に当たる。
- 卒業後上京(株)フジタ工業(現(株)フジタ)へ入社。工事現場の現場監督を務める。
- 1984年 蒲田の町工場に入社。製造業修行のはじまり。
- 1990年6月(有)クライム・ワークス設立、代表取締役社長に就任
- 1998年 (株)クライム・ワークスに改組、現在に至る。

クライムワークスは、難削材の複雑な加工を得意とする試作メーカーだ。CDやDVDのピックアップベースなど、付加価値の高い製品を製造し続け顧客の信頼を得ている。山口は、そんなクライム・ワークスの社長だ。特徴は——元気。新年早々、ブラウン管に暗い町工場が映し出された。不景気。製造業はその象徴だとも言わんばかりだった。悲しかった。日本製造業はこんなもんじゃない、そう思った。矢も楯もいられず、山口は元気な製造業を見せ付けようと、曲を作った。それが、『クライム・オーバー』だ。製造業の目指すところは、薄暗い舞台裏ではなく、活気溢れる表舞台なのだ。まず自らが表舞台に躍り出ることが製造業仲間を元気付けると信じている。元気——山口は、新たな付加価値を見つけた。

山口誠二

やまぐちせいじ

◆ レコーディングが終わって・・・

山口さんの「製造業に対する想い」を、詞や曲というカタチにすることは、難しかったですが、とても勉強になりました。はじめ、さあどんな曲調にしようかと考えましたが、製造業の方たちが額に汗して「モノづくり」をしている雰囲気を出したらどうかと、機械の音や手作業で発するトン!カン!といった音を楽曲の中の軽やかなリズム(打楽器)に託してみました。山口さんは声はもちろん、心身ともに若いわのでパワーある楽曲に仕上げましたが、予想通りピットリとはまったと思います。本番中も、歌に感情が入りすぎて思わず涙し、NGとなるシーンも・・・。今回のレコーディングは大成功でした。コーラス隊も背広にネクタイのいでたちで応援に駆けつけ、賑やかで楽しい現場となりました。私も歌を通じて、貴重なモノづくりと一緒にさせていただき、とても感謝しています。(野島恵美)

胸に描くあの景色は すぐ側にある 探していれば・・・

Fine みんなが欲しいもの ホントは持っているのに
Cry 誰かをうらやんで 泣いている間に 錆びてく

高く見えるあの山も 気付けば自分の足元に
向かい風 恐れずに 先へ登り続ける

※ 風が強く吹いても 冷たい雨が降っても
明日になれば窓の外に 青空は広がってる
あきらめないで行こう
自分の力信じていれば きっと 未来は輝く

Steal 周りの雑音に心奪われたなら
Lost 自分のことでさえ見失ってしまうよ

「鮮やかに咲け」願って植えた 誇りという名の赤い花
日に当ててやらなければ いつか しぼんじゃうのに

暗くて寒い夜も 長く孤独な夜も
目を覚ませば 東の空 燃えるような陽の光差す
あきらめないで行こう
自分の力信じていれば きっと 未来は輝く

(※ Repeat)

C/W曲「追憶」作詞/榊直子、野島恵美 作・編曲/野島恵美

Director, Programming & Background Vocals: 野島恵美
PV: 湊 宜泰、渡辺泰雄 (『CLIMB OVER』)

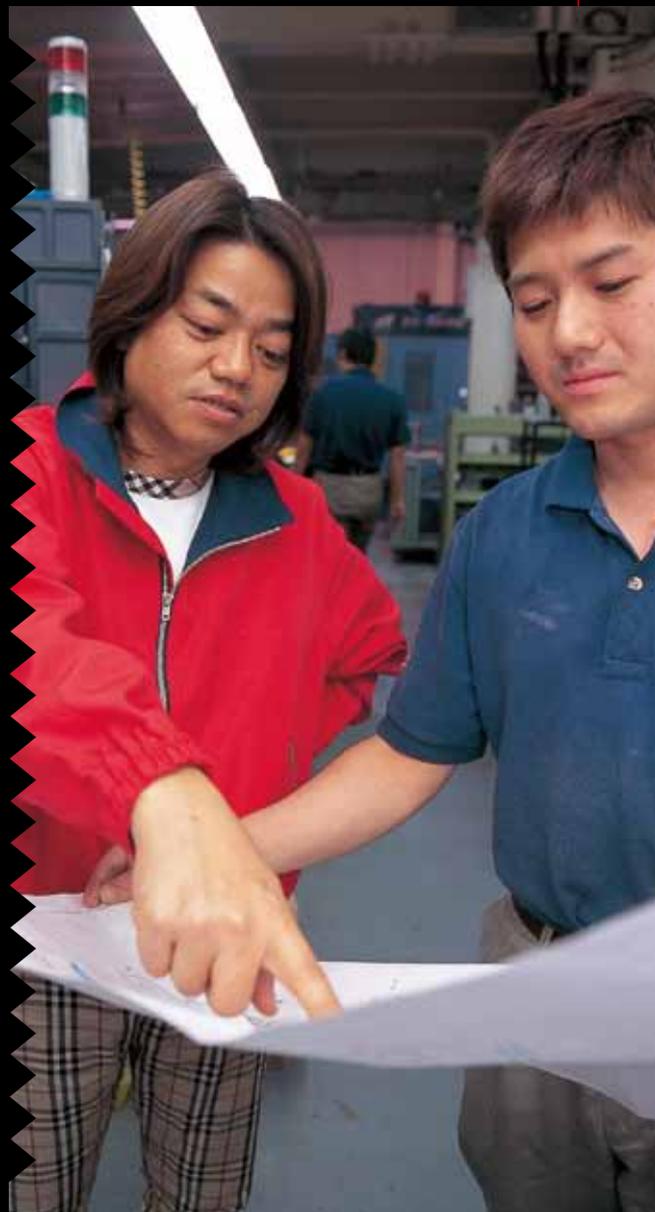
Whisper voice: 荒井明日美 (『追憶』)

Female voice: TOMO (『追憶』)

Engineer: 三本木勝己

Recording Studio: SOUND ARTS

Special Thanks: CLIMB OVER コーラス隊のみなさん



山口誠二 (写真: 左)
株式会社 クライム・ワークス
代表取締役社長
長崎県諫早市出身

左記の曲は、同封CD
「ザ・日本製造業 パワーアップ
CD-ROM」の中に、
「製造業応援ソング」として
挿入しております。
ぜひご視聴ください。